

追跡調査 4 (2008〈平成20〉年7月～10月) 調査箇所 543箇所 (調査スパン数 314)

施工箇所		熱硬化工法		光硬化工法		光硬化 取付管ライニング工法
		本管部	接合部(一体型)	本管部	接合部(一体型)	
調査現場数		9	6	11	9	7
調査スパン数		51	38	119	106	—
調査箇所数		99	22	63	94	265
既設管径		φ250～φ450	φ250、φ300	φ250	φ250	φ150、φ200
既設管種		ヒューム管	ヒューム管	ヒューム管	ヒューム管	ヒューム管
施工年		平成5～18年	平成11～5年	平成11～15年	平成11～18年	平成12～18年
経年		15～2年	9～5年	9～5年	9～2年	8～2年
調査結果	剥離	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	ハガレ	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	クラック	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
	浸入水	異常なし	1箇所 浸入水跡	1箇所 浸入水跡	1箇所 浸入水跡	異常なし
	木根	異常なし	異常なし	1箇所侵入	1箇所侵入	異常なし
	その他	経年15年の材料 異常なし	経年9年の材料 異常なし	経年9年の材料 異常なし	経年9年の材料 異常なし	3箇所の部分座屈 (閉塞なし)

1) 北海道地区

① 調査内容(調査日/平成20年8月、施工方法/熱硬化)

調査管径	調査スパン	管種	補修年	経年
φ250	1スパン	ヒューム管	平成15年	5年
φ300	1スパン		平成16年	4年
φ400	4スパン		平成16年	4年

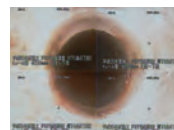
補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
クラック	21箇所	本管部	19	1.25～3.10
浸入水		接合部	2	

●北海道地区

φ250 (HP) 補修箇所(本管部) 熱硬化 経年4年



φ250 (HP) 補修箇所(取付管接合部) 熱硬化 経年5年



一体型施工(浸入水跡)

取付管 側視



取付管口
側視

2) 東北地区

① 調査内容(調査日/平成20年9月、施工方法/熱硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ250	6スパン	ヒューム管	平成17年	3年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
クラック	31箇所	本管部	25	1.60～3.00
浸入水		接合部	6	

3) 関東地区

① 調査内容(調査日/平成20年7月、施工方法/熱硬化・光硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ300	1スパン	ヒューム管	平成11年	9年
φ400	3スパン		平成12年	8年
φ150 φ200	5スパン		平成12年	8年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
熱 光	24箇所	本管部	13	1.50
浸入水		接合部	4	
クラック		取付管	7	

4) 中部地区

① 調査内容(調査日/平成20年8月、施工方法/熱硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ250	1スパン	ヒューム管	平成5年	15年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水 B	10箇所	本管部	10	1.00～3.60

5) 関西地区

① 調査内容(調査日/平成20年8月、施工方法/光硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ200	18スパン	塩ビ管	平成18年	2年
φ150				

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水	54箇所	接合部	27	2.00～3.50
		取付部	27	

② 調査内容(調査日/平成20年9月、施工方法/光硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ150	81箇所	ヒューム管	平成12年	8年
φ250	35スパン	ヒューム管	平成13年	7年
φ150	96箇所	ヒューム管	平成14年	6年
φ250	40スパン	ヒューム管	平成14年	6年
φ150	44箇所	ヒューム管	平成15年	5年
φ250	13スパン	ヒューム管	平成15年	5年
φ150	10箇所	ヒューム管	平成15年	5年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水	377箇所	本管部	27	2.00～2.50
		接合部	62	
		取付管	231	

6) 中国地区

① 調査内容(調査日/平成20年8月、施工方法/熱硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ250	16スパン	ヒューム管	平成11年	9年
φ300				

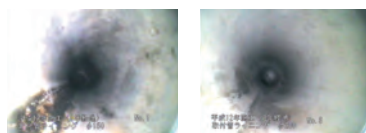
●東北地区

φ250 (HP) 補修箇所(取付管接合部) 熱硬化 経年3年

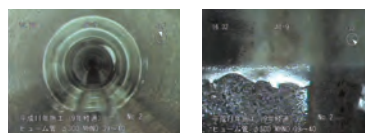


●関東地区

φ150・200 取付管ライニング 光硬化 経年8年



φ300 (HP) 補修箇所(本管部) 熱硬化 経年9年



●中部地区

φ250 (HP) 補修箇所(本管部) 熱硬化 経年15年

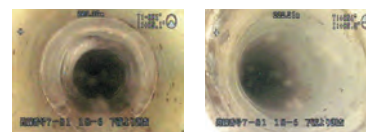
(平成16年6月 調査)

(平成20年8月 調査)

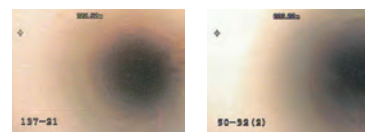


●関西地区①

φ200 (塩ビ) 補修箇所(接合部) 光硬化 経年2年



φ200 (塩ビ) 補修箇所(取付部) 光硬化 経年2年



経年2年後の状況(内面)

●関西地区②

φ250 (HP) 補修箇所(本管・接合部) 光硬化 経年6年

(木根 侵入) 本管部

(木根 侵入) 接合部(材料端部より木根侵入)



φ150 (HP) 補修箇所(取付部) 光硬化 経年7年



●中国地区

φ300 (HP) 補修箇所(接合部) 熱硬化 経年9年



補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水	40箇所	本管部	29	2.00～2.80
		接合部	11	

7) 四国地区

① 調査内容 (調査日／平成20年7月、施工方法／光硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ250	13スパン	ヒューム管	平成11年	9年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水	24箇所	本管部	23	2.00～ 2.50
		接合部	1	

8) 九州地区

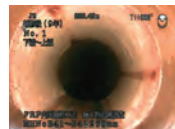
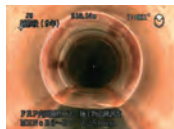
① 調査内容 (調査日／平成20年7月、施工方法／熱硬化)

調査管径	調査スパン	管 種	補修年	経 年
φ250	13スパン	ヒューム管	平成11年	9年

補修目的	調査箇所	施工内容	調査箇所内訳	土かぶり m
浸入水	19箇所	本管部	16	2.00～ 2.50
		接合部	3	

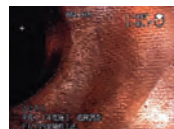
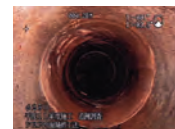
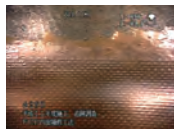
●四国地区

φ250 (HP) 補修箇所 (本管部) 光硬化 経年9年



●九州地区

φ250 (HP) 補修箇所 (本管部) 熱硬化 経年9年



φ250 (HP) 補修箇所 (接合部) 熱硬化 経年9年